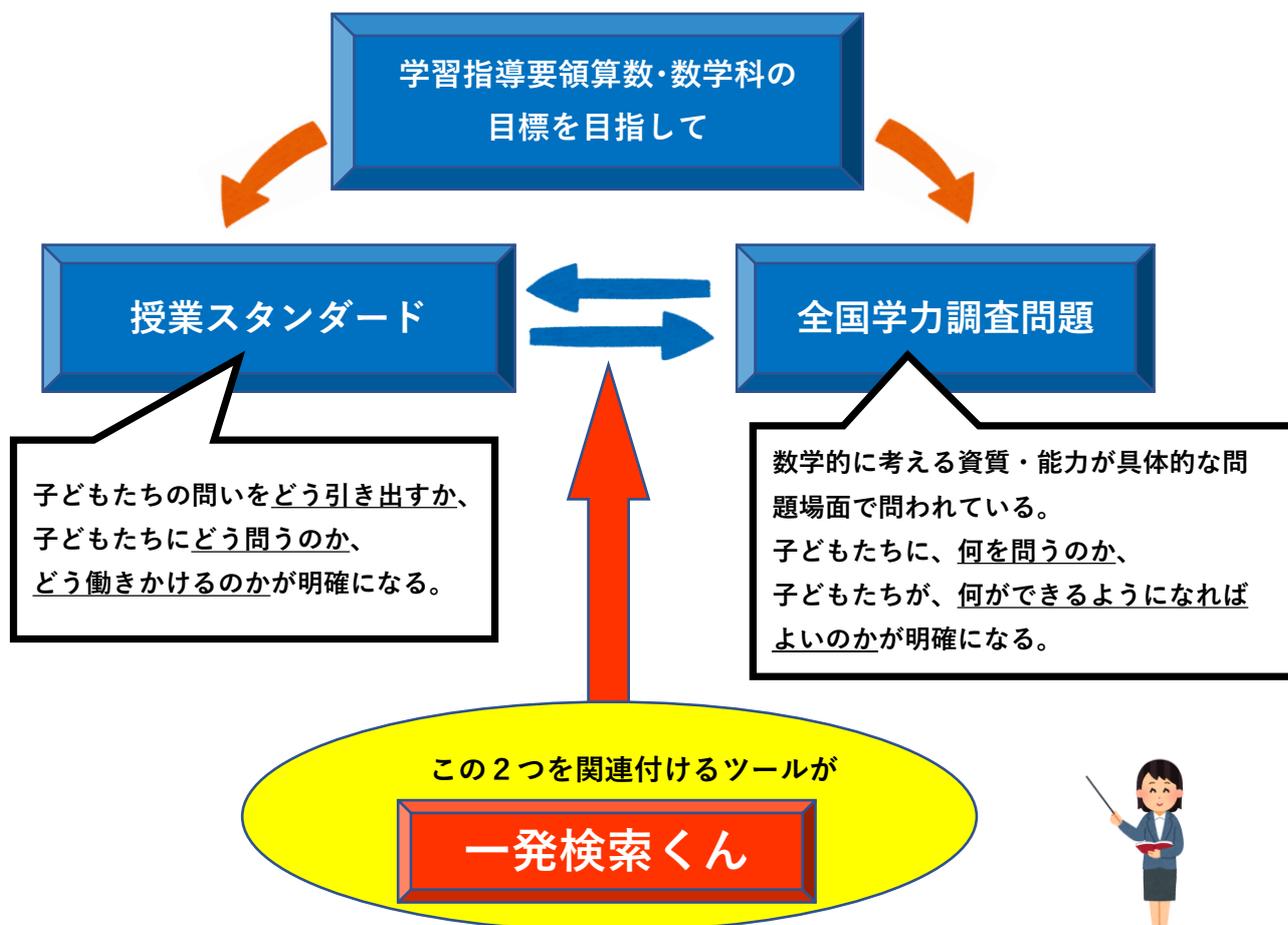


平成30年度版「算数・数学科 授業改善のための一発検索くん」（以下、「一発検索くん」）が完成しました。作成の意図、具体的な活用例を紹介します。

1 一発検索くんは、何のために・・・



全国学力調査の問題や解説を使いたいと思っても、何年分もの報告書を開いて、単元に関する問題を見つけることは、なかなか容易ではありません。

そこで、この「一発検索くん」を作成しました。

メニュー画面の年間指導計画で、ほしい単元に関連する問題番号が表示されます。クリックするだけで問題や解説が表示されます。もちろん、それを印刷して活用することができます。

授業研究指導案作成のとき、単元末や定期テストの問題作成のときなど、使いやすい場面でお使いいただけたら幸いです。

使っているうちに、その単元で、身に付けるべき資質・能力は何か、どんな見方・考え方を働かせるのが明確になってくると思います。

また、解説には、「学習指導に当たって」という項目があり、主体的・対話的で深い学びのための指導のポイントが明示されています。

2 どんな使い方があるのかな・・・

(1) 年間指導計画に、授業アイデア例やB問題を位置付ける。

- 単元内や単元末に授業アイデア例や学力調査B問題の流れに沿った授業を試みる。

記述式のB問題をやってみたけど、正答条件を満たしていない子どもたちの説明が多かったなあ。

授業のとき、子どもが説明不足の場面で、どんな問い返しをしたら、正答条件を満たす説明を引き出すことができるかな。

授業アイデア例の授業をまねてやってみたけど、アイデア例にあるような反応が返ってこないなあ。どんな発問をすればいいのかな。



自分自身の授業改善につながります。

- 単元末テストや定期テストの問題づくりに活用する。

この単元は、理由を説明する力を育てる必要があるので、B問題の記述式の問題を参考に問題を作ってみました。

解説を見ると、出題の意図や誤答例もあるので、作りやすかったです。

それに、「学習指導に当たって」を見れば、授業でどんなことに気を付ければいいのかもわかり、授業に役立ちました。



B問題を活用すれば、思考力・判断力・表現力を問う問題を作成しやすくなります。

年間指導計画に授業アイデア例やB問題を位置付けると、活用方法が広がります。

すべての年度を位置付けると、書ききれないので、使ってみたい問題や記述式など課題のある問題を選択して位置付けると使いやすと思います。



(2) 基本的な内容の確認問題として使う。

- メニュー画面にある「学年別基本問題」「年度別基本問題」を活用すれば、基本的な内容が身に付いているかどうか確認することができます。

3 最後に・・・

CD-ROMのままでも使用できますが、読み込みに時間がかかります。パソコンのハードディスクにコピーし、「スタート画面（小学校のみ）」や「メニュー画面」のショートカットを作成してデスクトップに置いておくと便利です。

※ 校内研修会や算数・数学部会で話題にしていただけましたら幸いです。